

# 市内支援組織の取り組み事例

事業	実施概要	具体的な取り組み	取り組みの成果
見守り	見守り方法や支援体制の検討を行うとともに、定期的に見守り活動を行います。	訪問時に日常の困りごと相談を行った。	見守りだけではなく複数の支援にもつながった。
		郵便受けの確認や、ゴミ出し状況、夜間の電灯確認により定期的に安否確認を行った。	普段の生活の中で見守りを行えるようになり、支援する側の負担軽減になった。
		地域で見守りを希望する方及び見守り支援者を募集し、見守り体制を整えた。	災害時の体制づくりとともに、支援が必要な方の安心感にもつながった。
		地域の高齢者に緊急用ブザーを渡し、何かあったときに鳴らしてもらう体制をつくった。	急な体調の変化など、緊急時にも対応ができたことで、高齢者が安心して地域で暮らすことができるようになった。
		市報や広報誌の配布や集金にあわせて見守りを行った。	期間を空けることなく見守りを行う体制ができた。
訓練	防災訓練を通して安否確認や避難誘導など各種訓練を開催します。また、地域住民の意識啓発につなげます。	防災訓練を通して配慮が必要な方の安否確認や、避難誘導を行った。	地域の要配慮者支援に対する意識が向上した。
		防災訓練にあわせて、町内の一時避難所の周知を図った。	災害時にまず避難すべき場所が分かった。
		災害別（風水害、津波、地震など）防災訓練を行った。	地域住民の防災意識向上につながった。
		消防本部に依頼して地震体験車での体験を盛り込んだ訓練を行った。	地震時に備えるべき知識などの習得が図れた。

# 市内支援組織の取り組み事例

事業	実施概要	具体的な取り組み	取り組みの成果
研修会	地域住民を対象とした研修会や、見守り隊員向けの支援者への研修会を開催し、意識啓発を図ります。	市の出前講座を活用し、要配慮者支援推進事業や自主防災組織について、また災害対策について学んだ。	災害時の対策に加え、行政の施策や支援等についても学ぶことができた。
		島根県が開催している防災安全講習会に参加した。	災害により負傷した方も地域で支援できるようになった。
		車いす操法研修を行い、災害時の支援に備えた研修を行った。	地域住民の支援の幅が広がった。
		初期救急救命講習を開催した。	地域の高齢者に参加してもらうことで、顔の見える関係づくりや、近況の確認ができた。
		高齢者を対象に振り込め詐欺、悪徳商法について等の防犯に関わる講演会を行った。	外に出てもらう機会を増やしたことで高齢者の居場所づくりや、認知症の予防につながった。また、世代間でお互いの顔が分かるようになった。  高齢者の状況確認にあわせて身体を少しでも動かしてもらうことで、健康づくりにもつながった。
イベント	高齢者の方を集め、リクリエーション活動など開催することにより、状況確認を行います。高齢者の居場所づくりや引きこもり防止につなげます。	映画鑑賞会や茶話会、懇親会、ゲーム大会を開催した。	
		落葉の時期に公園の清掃活動を行った。	



# 市内支援組織の取り組み事例

事業	実施概要	具体的な取り組み	取り組みの成果
支援会議	定期的に組織の取り組みについての会議や、地域の要配慮者の情報交換を行うなどの活動を行います。	自治会役員、民生児童委員、福祉推進員と合同で見守りについて協議を行った。	民生児童委員や福祉推進員を交えて協議することで、見守りのノウハウも取得できた。
		見守りで困りごと等の相談があった場合、支援会議の中で協議して解決している。	可能な範囲で情報を共有することで、支援者の負担軽減や支援の幅が広がった。
		各班の要配慮者状況について情報交換を行った。	班での活動により、より細かな情報収集ができ、共有できるようになった。
名簿・台帳作成	災害時の安否確認などの支援につなげるため、訪問調査による名簿や台帳などの作成をします。	毎年調査を行い、地域の見守り対象者の名簿を更新している。	毎年調査を行うことで、要支援者の近況の変化にも対応できた。
		作成した台帳をもとに、住宅地図に書き出した。	災害時など緊急時でも、すぐに安否確認などの支援ができるようになった。
		災害時の緊急連絡先や避難場所を示した避難支援マップを作成し、配布している。	平時から地域の方々がどこに逃げればいいのかを広く周知できた。
		地区内の空き家調査を行った。	より正確な情報を把握できたことで、無駄なく支援できるようになった。

# 市内支援組織の取り組み事例

事業	実施概要	具体的な取り組み	取り組みの成果		
広報	組織の取り組み内容の周知や、各種情報の提供を行います。	見守り隊の活動内容についての広報誌を作成し、全戸配布した。	見守り隊の周知を行ったことで、活動に対する理解を得られた。		
		災害時に対応できる資料を作成して配布した（災害時持ち出し品、避難先、地域の危険箇所、集会所の備蓄品一覧など）。	災害時、自分の地域ではどこへ避難すればいいか、また避難先に何があるのかななどの情報を地域全体で共有できた。		
資機材 備蓄品	資機材を地域の集会所等に整備することで、災害時などの万一の事態に備えます。	組織で整備した資機材などの一覧			
		・イス	・テーブル	・レインコート	・非接触型体温計
		・脚立	・非接触型体温計	・ヘルメット	・安全ベスト
		・リヤカー	・懐中電灯	・スコップ	・毛布
		・軍手	・ハンズフリーマイク	・車いす	・防災ラジオ
		・金てこ	・非常用リュック	・非常用トイレ	・発電機
		・ハロゲンライト	・カセットテープ	・除雪機	・ガソリン携行缶
		・携行用水タンク	・敷マット	・緊急用ブザー	・テレビ
		・担架	・照明器	・テント	・無線機
		・石油ストーブ	・炊き出し用釜	・キャビネット	・ビニールシート